

徳島大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催

徳島大学 全学共通教育「国際協力論」

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	8/7 (土) 10:25～ 11:55	基礎講座	授業の概要、進め方などを説明した後、国際協力に関する基本的な考え方、用語などを概説する。	饗場和彦（徳島大学）	徳島
2	8/7 (土) 12:50～ 14:10	中国・内モンゴルにおける教育、経済支援	中国・内モンゴルの貧困地域で学校建設、奨学金などを支援し、地域の経済力強化にも取り組む活動を聞く。	上田勝久（内蒙古愛陽教育経済支援協会）	徳島
3	8/7 (土) 14:10～ 15:30	カンボジアにおける教育、保健、職業訓練支援	カンボジアで貧困地域の住民を対象に教育、保健、職業訓練の支援を行うNGOの活動を知る。	新田恭子（セカンドハンド）	香川
4	8/7 (土) 15:45～ 17:00	ワークショップⅠ	貿易ゲームを通して国際社会における先進国と途上国の格差構造を学ぶ。	後藤尚子（セカンドハンド）	香川
5	8/7 (土) 17:10～ 17:50	討論とまとめⅠ	この日の講義、ワークショップについてグループごとに討論や質疑を行なう。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島
6	8/8 (日) 10:25～ 11:45	ザンビアにおける保健医療、村落開発支援	世界の貧困問題の実情を知り、ザンビアで支援活動に取り組むNGOの活動を知る。	吉田修（TICO）	徳島
7	8/8 (日) 12:40～ 13:20	徳島県や国際交流協会の活動	県レベルで行う国際交流、国際協力の活動を学ぶ。	県民環境部 国際交流戦略課 長町課長補佐	徳島
8	8/8 (日) 13:20～ 14:30	JICAの活動	JICAの行なう様々な支援活動やODA、青年海外協力隊などについて学ぶ。	新納宏（JICA四国支部）	香川
10	8/8 (日) 14:45～ 17:00	ワークショップⅡ	絵、クイズ、ロールプレイなどを通して国際協力や平和活動の実際を学ぶ。	池住義憲（立教大学大学院教員）	東京
11	8/8 (日) 17:10～ 17:50	討論とまとめⅡ	この日の講義、ワークショップについてグループごとに討論や質疑を行なう。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島
12	8/9 (月) 10:25～ 11:55	NPOバンクの活動	「必要な人に届く援助とは」。資金の使いみちを通して国際協力、平和運動、環境保護、地域おこしを考える。	田中優（未来バンク事業組合理事長、ap bank 監事）	東京
13	8/9 (月) 12:50～ 13:50	平和構築と人間の安全保障	紛争地に対する支援について基本的な考えや概念を学ぶ。	饗場和彦（徳島大学）	徳島
14	8/9 (月) 14:00～ 15:30	アフガニスタンにおける平和構築の活動	アフガニスタンの実情と平和構築の取り組みを現場から考える。	小泉尊聖（外務省・在アフガニスタン日本大使館）	徳島
15	8/9 (月) 15:40～ 17:00	ワークショップⅢ	平和構築について質疑や議論を通して考える。	小泉尊聖（外務省・在アフガニスタン日本大使館）、饗場和彦（徳島大学）	徳島
16	8/9 (月) 17:10～ 17:50	討論とまとめⅢ	この日の講義、ワークショップについてグループごとに討論や質疑を行なう。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島
17	9/5 (日) 12:50～ 14:20	民間企業のソーシャルビジネス	企業の行なうソーシャルビジネスとしての国際協力とCSRについて学ぶ。	担当者（日本ポリグル）	大阪
18	9/5 (日) 14:30～ 16:00	体験報告Ⅰ	各自が体験した国際協力の活動についてプレゼンテーションを行ない、質疑を受ける。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島
19	9/5 (日) 16:10～ 17:50	体験報告Ⅱ	各自が体験した国際協力の活動についてプレゼンテーションを行ない、質疑を受ける。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島

平成22年度 香川大学「国際協力論」  
～ 香川から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名	主な内容	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月12日	ガイダンス、アンケート等、国際協力論基礎講座(1)	この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、アンケート調査で受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。また、ODA(政府開発援助)やNGO(非政府組織)など、国際協力の用語を学ぶ。	平篤志(香川大学教育学部教授)、正楽藍(香川大学インターナショナルオフィス講師)JICA四国支部、四国NGOネットワーク	香川
2	4月19日	国際協力論基礎講座(2)	国際協力、特に、国際教育協力の歴史と仕組みを学び、課題について考える。	正楽藍(香川大学インターナショナルオフィス講師)	香川
3	4月26日	【愛媛発！国際協力団体】アフリカ支援活動	モザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。また、本講義をコーディネートする四国NGOネットワークについて知る。	竹内よしこ(えひめグローバルネットワーク代表、四国NGOネットワーク代表)	愛媛
4	5月10日	国際協力団体で働く、学生として参加する	国際協力団体で働くスタッフから、NGOで働くことになった経緯、やりがい、仕事に必要なスキルなどを聞く。また、NGOの学生部で活動する大学生より、活動してのやりがいや学びについて聞く。	後藤尚子(公益社団法人セカンドハンド事務局)	香川
5	5月17日	国際社会論入門	日本社会の国際化の現状と課題について考える。	平篤志(香川大学教育学部教授)	香川
6	5月24日	難民問題と日本の対応	難民事業本部の活動について知り、参加型の学習で難民問題について考える。	中尾秀一(難民事業本部 関西支部 支部長代行)	兵庫
7	5月31日	オイスカの活動と海外研修生や留学生とのワークショップ	農村開発や植林活動について学ぶ。また、各国からの研修生や留学生とのワークショップを通し、途上国への理解を深める。	柿沼瑞穂(財団法人オイスカ 四国研修センター所長)	香川
8	6月7日	企業のCSR	国際協力、環境問題などに取り組むボディーショップのCSR(企業の社会的責任)活動を知り、企業のCSR活動について考える。	藤田紀久子(株式会社イオンフォレスト(THE BODY SHOP) コミュニケーション部 部長)	東京
9	6月14日	【香川発！国際協力団体】ラオスでの支援活動	ラオスにおけるベトナム戦争時の不発弾の被害状況、教育支援が求められる現状から、国際協力のあり方、国際社会における市民社会の構築を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター 副理事長兼事務局長)	香川
10	6月21日	JICAが実施する国際協力	政府レベルの国際協力の概要やJICAが実施している青年海外協力隊について学び、マクロな視点で国際協力の様々な取り組みを学ぶ。	新納宏((独)国際協力機構 四国支部 支部長)	香川
11	6月28日	国連機関などの活動	国連機関や政府組織、非政府組織が実施する国際協力について学。	新田恭子(公益社団法人セカンドハンド)	香川
12	7月1日	【徳島発！国際協力団体】ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性と地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修(特定非営利活動法人TICO代表)	徳島
13	7月5日	【香川発！国際協力団体】カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	平野キャシー(公益社団法人セカンドハンド理事長)	香川
14	7月12日	「国際協力論」総括	参加型の学習形式で全講義を振り返り、国際協力について考える。	平篤志(香川大学教育学部教授)、正楽藍(香川大学インターナショナルオフィス講師) ほか	香川

## 平成22年度 愛媛大学「国際協力論」

～ 愛媛から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名	主な内容	担当講師 〔所属先・役職名〕	所属 地域
1	4月14日	ガイダンス、愛媛の国際化とスリランカへの国際協力、アンケート	本講義の趣旨やスケジュールなど概要を説明した後、愛媛の国際化状況について紹介。愛媛とスリランカの国際協力について学ぶ。最後にアンケート調査を行い、受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。	栗田英幸・愛媛大学法文学部准教授、大森典子・愛媛県国際交流協会	愛媛
2	4月21日	モザンビーク支援と四国のNGOネットワーク	モザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の現状と国内の活動内容を紹介し、四国NGOネットワークについて学ぶ。	竹内よし子・えひめグローバルネットワーク代表兼四国NGOネットワーク代表	愛媛
3	4月28日	学生による国際協力活動報告	昨年度の「国際協力論Ⅱ」で実施した国際協力活動の紹介を通じて、学生ができる国際協力のあり方について考える。	ファシリテーター：栗田英幸、竹内よし子、発表者：愛媛大学学生	愛媛
4	5月12日	多文化共生社会と人権	世界の民族・国家の多様性と現代の国際化を踏まえ、地域における多文化共生社会づくりと人権について考える。	白石理・(財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)所長(元国連人権高等弁務官事務所上級人権官)	大阪
5	5月19日	東ティモール支援	アジアで最も新しい国「東ティモール」で持続可能な社会づくりを考え、愛媛での持続可能な社会づくりに向けて耕作放棄地で畝を振る取組みと現状を紹介。	横田創・GNET代表	愛媛
6	5月26日	ネパール支援	ネパールの里親制度による就学児童支援と教育支援活動を紹介。古着を販売するなど自主財源を確保しながら国際協力活動を継続している現状から国際協力への関わり方を学ぶ。	池田郁江・CCWA愛媛の会代表	愛媛
7	6月2日	JICAの国際協力	政府レベルの国際協力の概要やJICAが実施している青年海外協力隊について学び、高知県・牧野植物園の地域提案型国際協力の実態について学ぶ。	新納宏・(独)国際協力機構 四国支部支部長	香川
8	6月9日	中間まとめ	「テーマ：地域発の国際協力を考える」グループワーク	栗田英幸、横内悠・JICA国際協力推進員、竹内よし子	愛媛
9	6月16日	HIV/AIDS	日本で、世界で増え続けているHIV/AIDSの現状と予防対策、患者・感染者への支援活動について学ぶ。	木城香代・四国エイズプロジェクト代表	愛媛
10	6月23日	中国支援	日本財団CANPANブログ大賞2009国際部門賞受賞団体が、自宅でネットを活用して取組む中国児童教育の現状と、国際協力活動の方法・可能性について学ぶ。	菅未帆・中国児童教育援助協会(元JICA青年海外協力隊員)	愛媛
11	6月30日	フィリピン・ベトナム研修生支援	フィリピンやベトナムから招へいた研修生を愛媛の農家と農業で人材育成している現状を紹介。愛媛の農業と国際協力の可能性を探る。	中田圭一・研修生招聘研究会理事長(元JICA青年海外協力隊員)	愛媛
12	7月7日	ザンビア支援	日本の10円玉はアフリカ・ザンビアから輸入される銅から造られていることから、「10円募金」を推進し、ザンビアでエイズなどで親を亡くした孤児たちの未来を支援する活動を紹介。身近な取り組みから国際協力の一歩を考える。	山本明子・ザンビア子ども基金副代表(元JICA青年海外協力隊員)	愛媛
13	7月14日	ODAの木自然学校	「ODAの木自然学校」では、「ツリーハウスを作ったり、フナ林の中を探検したり」といったプログラムを提供。総務大臣表彰、ふるさと愛媛創造賞受賞団体が、これまで取り組んできたタイの国際交流活動や自然環境学習を通じた「持続可能な社会とは？」を考える。	高本師津雄・ODAの木協会理事長	愛媛
14	7月21日	ルワンダ支援	KOMERAとは、ルワンダ語で「頑張れ」の意。貧困かつHIV陽性者の人達を支援する会で、継続して支援活動を展開してきた経緯と現状を紹介。山あり谷ありの国際協力の現場の声に耳を傾け、国際協力の必要性を考える。	和喜田弥生・KOMERA(コメラ)代表(元JICA青年海外協力隊員)	愛媛
15	7月28日	総括および「国際協力活動の必要性と可能性(仮称)」	「テーマ：地域発の国際協力を考える」グループワークの発表を共有し、「国際協力の必要性と可能性(仮称)」についての包括的な講演により本講義のまとめを行う。アンケート記入。	JANIC	東京

高知大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
 高知大学 課題探求実践セミナー（国際協力入門）  
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名	主な内容	担当講師(所属先・役職名)	
1	7月17日	ボルネオ島での中山間地域問題と高知	ボルネオ島で起きている過疎化・高齢化問題と高知の中山間地域の問題を比較しながら、その本質を探る。	市川昌広(高知大学農学部・教授)	高知香川
2		国際協力ワークショップⅠ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)・石筒覚(高知大学人文学部・准教授)	
3		国際理解教育とは？	国際理解協力の意義を方法を実践を交えて学ぶ。	坂山英治(四万十町立七里小学校・校長)	高知
4		国際協力ワークショップⅢ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
5	7月18日	企業活動から見た国際協力	民間企業が国際協力や環境保全とどのようになかかわりを持てるのか、その役割はどのようなものがあるのかについて考える。	常川真由美(株式会社相愛四国環境取引事業部・プロジェクトマネジャー)	高知香川
6		国際協力ワークショップⅡ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)・石筒覚(高知大学人文学部・准教授)	
7		ラオスから考える国際協力と平和	ラオスにおけるベトナム戦争におけるクラスター爆弾の被害状況、教育支援活動が求められる現状等から、国際協力のあり方、地域と国際社会における市民社会の構築を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)	香川
8		国際協力ワークショップⅣ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
9	9月18日	国際協力活動実践報告会	夏休み中のスタディツアー、研修・講座・講義参加、インターンシップ、ボランティア体験、イベント支援、自ら企画した活動など、学生による「国際協力活動」報告(1人・5分)とワークショップ→これはそのまま最終レポートの基礎材料になります。	竹内よし子(えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)、蓮井、石筒、渡辺(JICA四国・高知県国際協力推進員)、竹崎仁(高知県教育委員会)、竹崎美(高知県教育委員会)	香川高知愛媛
10					
11					
12	9月19日	アフリカ支援と地域とのつながり	アフリカ大陸にあるモザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。	竹内よし子(えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)	香川高知東京
		国家として行う国際協力の意味、JICAの取り組み	政府開発援助(ODA)の概要、JICA事業の特徴、青年海外協力隊事業ほか、新たな協力のあり方などマクロな視点での国際協力の現状を学び、またJICA事業例として協力隊活動についても事例を知るとともに、改めて、自分たちに何が出来るかを考える。	香川顕夫(JICAアフリカ部)、渡邊琢磨(JICA四国、国際協力推進員高知JICAデスク)	
13		国際協力ワークショップⅥ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)・石筒覚(高知大学人文学部・准教授)	
15		国際協力ワークショップⅦ			